

# フードコートでランチを注文しよう

フードコートで自分と、担任の先生の分の食事を買ってくる、  
オリジナルメニューを使ったロールプレイ Role play with original menu.

**時間 40分**

※前時に、メニューを作っておきます。(20分程度) (別紙)あれば、教科書のワークシートを使う。

## 絵を描く

メインの料理を2品描く。

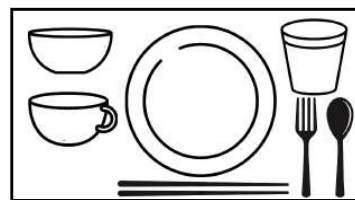
サラダ、スープ、ドリンク、デザートも1つずつ。

## 値段を決める

値段をつけるときの条件

- ① 通貨はドル
- ① 全6品の合計が20ドル以内であること
- ② セントは使わないこと

## 事前に準備するもの 24人クラスの場合



①トレイを印刷 1人2枚×24人分(別紙)

②お金1人20ドル (1ドル札×10枚、5ドル札×2枚)×24人分 (別紙)

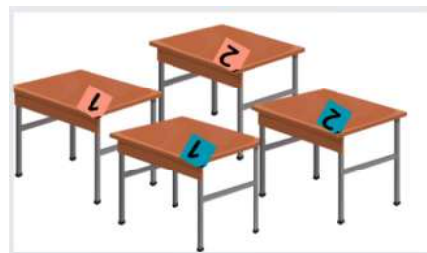


③財布(古封筒を半分に切りました)(24袋)



④机に貼る数字の書かれた付箋(2色)

青×12枚  
ピンク×12枚



④教卓に置いておく紙(人数の半分の12枚)  
1~12までの数字を書き伏せておきます。

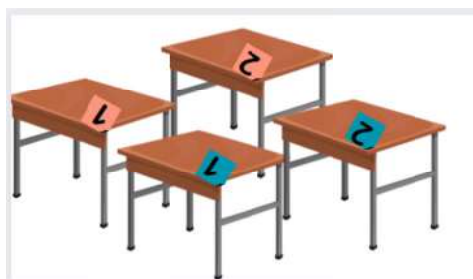


⑤各自に小さめの付箋10枚程度×24人 (240枚)ダイソーで400枚入りがあります。  
注文を受けたメニューを紙に書いて渡すため



## 授業前の休み時間にしておくこと

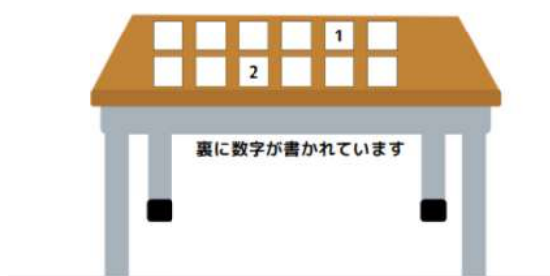
①2色の付箋に1～12の数字を書き、全員の机の隅に貼ります



1	1	5	5	9	9
2	2	6	6	10	10
3	3	7	7	11	11
4	4	8	8	12	12

教卓

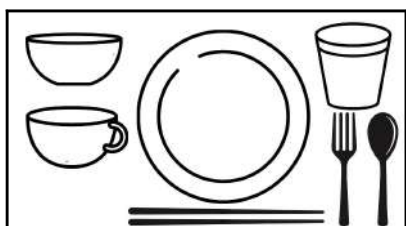
②教卓には1～12の数字のカードを伏せて置く。



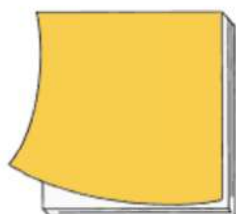
## 授業中、1人ずつに配るもの、3つ



20ドル入った封筒  
(1ドル札×10枚、5ドル札×2枚)



トレイ 1人2枚(自分用と先生用)  
B4かA4の用紙



四角い付箋10枚程度  
(注文された料理を書いて、お客に渡します)  
(㊤シンプルなイラストが描ければいいですが、  
㊦描けない人は文字だけでもいいことにしました)



## ルール

- ・2回のやり取りで、自分と先生の食事を買う。
- ・自分と先生のメニューは、2つの店で買ったもの(付箋)を全部並べてから、考えてよい。
- ・メニューが決まったら、付箋は全面的りではる。
- ・1回目と2回目の店が同じだった場合、他の人と行く店を交換する。
- ・2回目の買い物では、儲けたお金を使ってもよい。

## 1回目

机に貼られた付箋が **1** から **12** は店員、**1** から **12** は客になる。

**1** から **12** の店員はそのまま着席。

**1** から **12** の客は教卓まで行き、数字のカードを1枚引く。

\* 同じ数字を引いてしまうのを避けるために、  
引いたカードは教卓に数字を表にしたまま置いていく。

例えば、「5」を引いた客は **5** の店に行く。



<会話の流れ>

**店:** What would you like?(メニューを渡す)

**客:** I'd like curry, orange juice and ice cream. (メニューを返す)

**店:** OK. Curry, orange juice and ice cream.  
メニューを繰り返しながら、四角い付箋に料理名を書いていく。日本語でもよい。

1枚に1品なので、この場合、3枚の付箋を渡す。  
絵が描けない場合は、文字だけでもよい。



**客:** 3枚の付箋を受け取り、How much?

**店:** That's 12 dollars.

**客:** Here you are.(お金を渡す)

**店:** Thank you. (お金を受け取る)



以降は次の通り。(時間は様子を見ながら、判断する。1回4、5分程度)

2回目 **1** から **12** が店員、**1** から **12** が客。

3回目 **1** から **12** が店員、**1** から **12** が客。

4回目 **1** から **12** が店員、**1** から **12** が客。

テーブルセッティングができた人は、先生に食事を渡しに行く。

生徒: Here you are.

先生: Thank you.